

子ども大学かすかべの実践 ～世界を広げよう～

1 実践のねらい

小学生たちが、外国人との交流を通じて、各国の言葉や文化、習慣の違いなどを学び、広く世界に目を向け、異文化への理解を深めることを目的とする。

2 事業計画

月日	講義名【会場】
9 / 2(土)	講義1「プログラミングでコミュニケーション」【共栄大学】
10 / 7(土)	講義2「世界の仲間とコミュニケーション」【共栄大学】
11 / 3(金)	講義3「商売でコミュニケーション」 講義4「学園祭でコミュニケーション」【共栄大学】
12 / 2(土)	講義5「天気とコミュニケーション」【共栄大学】

3 事業内容

(1) 講義2「世界の仲間とコミュニケーション」

共栄大学留学生会、ローターアクトクラブの協力の下、共栄大学で日本語を学ぶ留学生をゲストに迎え、各国のあいさつや習慣を学ぶとともに、自由な質疑応答の時間を設けることで、異文化間コミュニケーションを図り、相互理解を深める。

※留学生の出身国：中国、ベトナム、ネパール、タイ

ア 講義前

留学生による母国語での自己紹介。

イ 講義中

前半は、岡田道程共栄大学名誉教授による、各国の文化や習慣などについての講義。

後半は、グループごとに留学生と自由に質疑応答を行う。自国の通貨を見せたり、自国の景色やお祭りの様子などをスマートフォンで見せたりしていた。

ウ 講義終了

それぞれの留学生の母国語であいさつをして講義終了。

(2) 講義4「学園祭でコミュニケーション」

留学生の模擬店での販売体験や、外国語による読み聞かせ、各国の文字で自分の名前を書くなど、外国人と楽しくコミュニケーションを図る。



自国を紹介するボードを作成する留学生



各国の文化や習慣などについての講義



自国の通貨を見せ合っている様子



スマートフォンを使って自国の様子を見せている

ア 体験学習「留学生の模擬店で販売体験」

共栄大学の学園祭「樹麗祭」に出店している共栄大学留学生会の模擬店に小学生が参加して、ベトナム料理の販売体験を行う。留学生と一緒に、呼び込みや商品の受け渡しを体験する。

イ 体験学習「外国人との交流」

国際交流ボランティア団体「てんぎりん」協力の下、韓国、香港、カンボジア出身の人たちとの交流を実施。母国語での絵本の読み聞かせや、ハングル文字やクメール語、広東語での名札の作成など、楽しみながら現地の文化と触れ合った。



ハングル文字での自分の名前の書き方を学ぶ

4 成果と課題

(1) 成果

ア 共栄大学学生スタッフが全講義において、運営をサポートすることで、スムーズな講義進行ができた。また、小学生のお兄さん、お姉さんの存在となり、留学生との交流の際は、小学生と留学生との間で各グループのファシリテーターとなり、より活発な交流が可能となった。

イ 講義2では、前半に講義、後半に留学生との交流会を設けることで、前半の講義の内容について、興味を持った部分を留学生に質問するなど活発に交流ができていた。

ウ 現在の小学校では、外国語活動の時間等で普段から英語に親しんでいるが、講義4ではハングル文字、広東語、クメール語といった学校では習わない言語に触れることで、言語の多様性について学ぶことができた。また、それぞれの国の文字で名前を書くアクティビティは非常に効果的で、講義終了後のアンケートをハングル文字やクメール語で記入する小学生もおり、学習の成果は高いものとする。

エ 講義4では上記体験のほかに、留学生会が出店する模擬店での販売体験を実施した。留学生と一緒に活動することで、楽しくコミュニケーションを図ることができた。

(2) 参加者からの声

ア 小学生の声

「いろいろな国の話を聞いて外国から見てどんな国なのかわかりました。それぞれの国に特徴があっておどろきました。」

イ 留学生の声

「日本の小学生から元気もらった。日本の小学生は真面目で驚いた。講義に参加できてうれしかった。自分の国のことを話す機会がないので、このような機会を設けてくれて感謝する。」

(3) 課題

ア ハード面の整備

留学生が個人のスマートフォンなどで、自国の様子などを見せていたが、小学生一人一人にタブレット端末を持たせるなどすると、より効果的に異文化について学ぶことができると考える。

イ 実施時期の決定

留学生との交流を行う場合は、春休み夏休みなどの長期休暇は帰国することが多く、講義の打合せが困難である。そのため、実施時期については慎重に決定する必要がある。

ウ より多様なネットワークの構築について

今回は、参加した留学生等の出身国である、アジアの国々の文化を中心に学んだ。今後は、より多様なネットワークを作ることにより、欧米やオセアニア、アフリカなど、色々な地域の出身者を招き、各国の文化・言語等を学ぶことができれば、より有意義なものになると考える。